1959年1月31日第3種郵便物認可（月615円〒160円、会員は会費に含む）

週刊 うたごえ新聞

1／7・14（2002年）

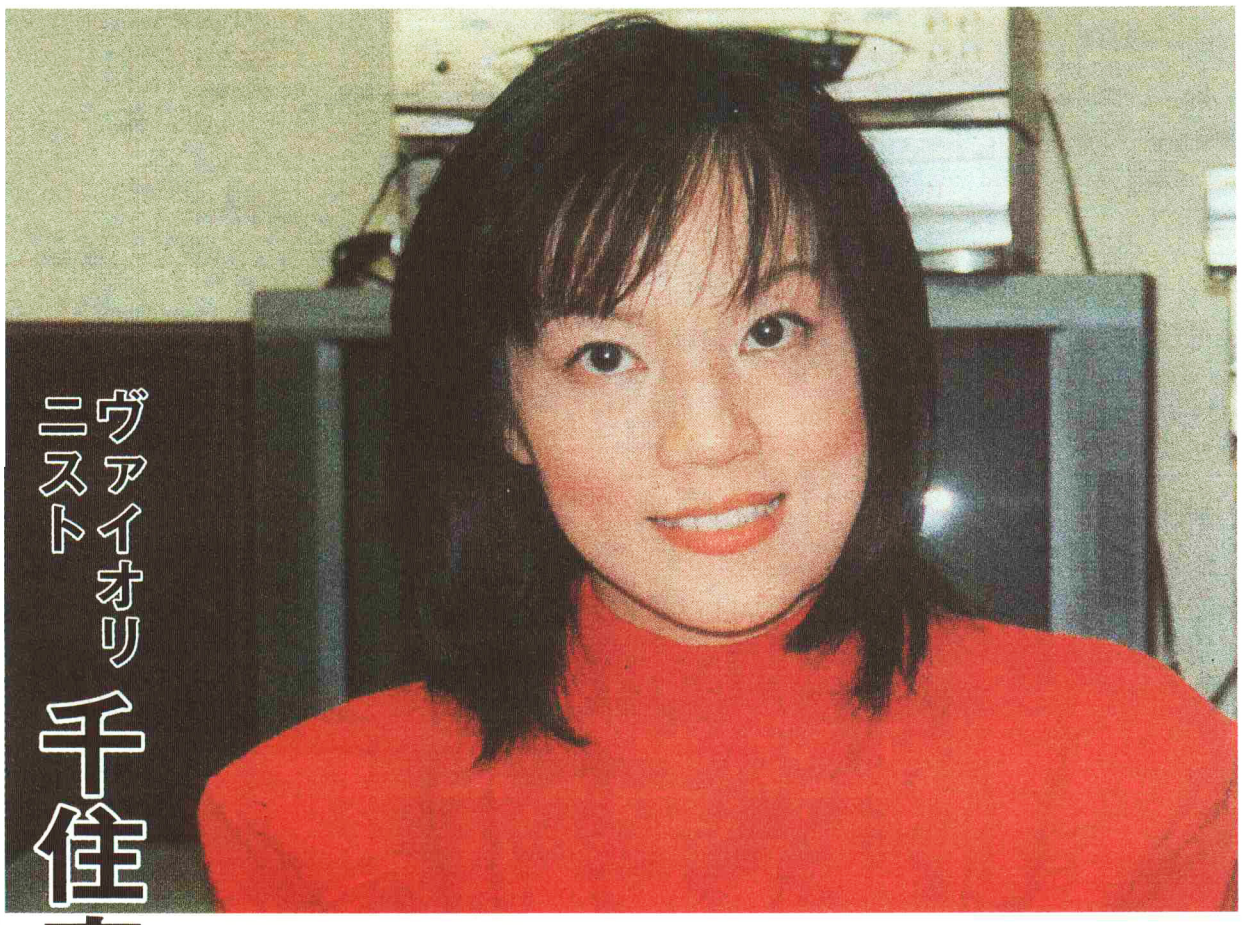
NO. 1826

THE SINGING VOICE OF JAPAN（UTAGOE）
日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169-0072 東京都新宿区大久保2－16－36
☎03（3209）0638 FAX03（3200）0105
E-Mail＝utashin@pop06.odn.ne.jp
振替口座 00120－6－5631 毎週月曜日発行

人と人の空気の中で音楽は創られる

新春インタビュー

ヴァイオリニスト 千住真理子さん



国内外での活躍はもちろん、ブラジル、チリ、ウルグアイなどでの文化大使派遣演奏会やチャリティコンサート等社会活動、また報道番組のキャスター（1986～88年）をつとめるなどなど幅広く活動するヴァイオリニスト千住真理子さん。今放送中のNHK朝の連続テレビ小説「ほんまもん」は作曲家の兄千住明氏が音楽を担当、真理子さんが演奏。そんな千住さんの本「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信）から、〝音に魂を入れる営み〟が伝わってきた。

インタビュアー　三輪純永本紙編集長

三輪　今年は16日、サントリーホールでのプラハ・フィルハーモニー管弦楽団との共演からスタートですが、本当に幅広い活動をされていること、「聞いて、ヴァイオリンの詩」を読んで知りました。随所に出てくる〝音に魂を入れる〟ということ。さまざまな演奏の場で、人の心と音楽が解け合い、力を発揮するというシーンをたくさん体験されてのことばだと実感します。最近ではどんな場面がありましたか。

♥♥音楽は体温

千住　そうですね。一番最近でいうと、実は兄明（長兄は日本画家）の作品なのです。兄とは最低3～5年は経たないと一緒に仕事をするのはやめようと話していまして、兄の曲を演奏するということはそうしょっちゅうはなく今まで来ているのです。

久しぶりにNHKの朝のドラマで兄と共演して、曲そのもののなかにその人の人柄が出るなあと思いながら、兄の作品の中にひとつの温かみというのを感じて演奏しています。やっぱり音楽はテクニックとか音符ではなくて、体温であったり、心であるんだなあと思いましたね。

三輪　ご兄妹ということでの意志の疎通は…。そういうことは関係ありませんか。

千住　それは全然関係ないですね。演奏になるとお互い、作曲家と演奏家です。

三輪　国連の文化大使派遣演奏会、中南米ですが？

千住　たまたま中南米でのお話がありまして。当時もあまり治安はいいとは言えなかったのですが、なんと言っても演奏で交流ができるということであれば、と喜んで行きました。

（4面につづく）

▲2002年日本のうたごえ祭典in福岡（11月29日～12月1日）が福岡市と北九州市で開かれる。その福岡・博多の正月。正月3カ日間、博多の総鎮守、櫛田神社で奉納される獅子舞（写真＝福岡市経済振興局観光課）

迎春 2002年、新年号

若者たちの想いそして夢　青春メッセージ うた新BBS（3面）◇

今、世界と　マドリガル・シンガーズ（フィリピン）創設者 アンドレア教授に聞く ◆ 5面

2002年は福岡の熱い風　高橋幹事長あいさつ　綾 正博 2002年福岡祭典運営委員長　6・7面

〈連載〉ミュージック・トゥデイ　日下部吉彦・和田静香
われらニャがの合唱ニャン／うたごえ喫茶案内／映画缶／視聴室

〈新連載〉1人のときめきを万人の心臓の鼓動に　労働者・作曲家 荒木栄 没40年企画①
楽譜紹介「夜明けだ」（荒木栄）

音楽会評　OH！人生男声合唱団　9面 ◇
阪神大震災チャリティ◆ J.FRIENDS　11面

21世紀も平和の使者、クロアチアへ　〈ぞうれっしゃ〉5月Tokyo cantatへ
「空を見てますか」　池辺晋一郎　12面

※次号1月21日号は本局発送11日、以下通常

ふめんだい

「4年9カ月の長い間、ご支援ありがとうございました」。都内地域センターの一室は誇り高く美しい笑顔が溢れていた。倒産した会社の労働組合が労働債権を確保し仕事を続けついに再建した。新年のごあいさつにこの事を紹介したい。

☆　★　☆

社員300人のうち、人間らしく働きたいと闘う労働組合員は約一割。経営者からは賃金差別等の攻撃も受けた。だが、会社が不渡りを出し倒産という時、会社に泊まり込み、仕事を、職場を守ったのは倒産時、70人に減った社員の中の20人の労働組合員だった。

☆　★　☆

組合の執行委員長酒井英夫さんは前南部合唱団団長。闘いの中で団長を交替。闘いと仕事を始めて半年、脳梗塞で倒れ闘病も加わった。が、南部工業地帯の労働者と歩む合唱団団員として歌い続け闘い抜いた。この日、合唱団は正装で喜びのうたごえを贈った。

☆　★　☆

弁護士の岡田尚さんは語る。「仕事や職場、ひいては企業や産業をいざというとき、守り抜くのはほかでもない労働者だ、と言ってきたが、その通りになった」。「差別は人間の尊厳に対する挑戦、否定である。差別是正の向こうに職場の夜明けがある」。岡田弁護士が国鉄闘争の中で作詞した歌「人間として労働者として」は歌う。♪仲間よ信じようじゃないか人の心を　働く者の魂を…（純）